平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　株式会社 コンセック　　上場取引所　大
コード番号　9895　URL　http://www.consec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 佐々木　秀隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 原田　文栄　TEL 082-277-5451

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,022	△3.0	△209	―	△203	―	△326	―
23年3月期第3四半期	6,206	11.9	△121	―	△98	―	△141	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△374百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　△199百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△17.86	―
23年3月期第3四半期	△7.74	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,706	6,621	60.9
23年3月期	10,821	6,997	63.8

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　6,524百万円　23年3月期　6,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,426	1.2	△108	―	△94	―	△238	―	△13.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	18,640,112 株	23年3月期	18,640,112 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	387,022 株	23年3月期	385,705 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	18,253,927 株	23年3月期3Q	18,256,100 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は〔添付資料〕2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年度補正予算の決定など政府による政策効果を背景に、東日本大震災の影響から緩やかながら景気の持ち直し傾向がみられました。一方、ヨーロッパ金融危機による急激なユーロ安の影響で世界的な景気減速や、超円高の長期化で国際競争力が低下する中、企業収益の悪化が懸念されるなど、先行き見通しに不安材料が増大し、民間設備投資や雇用情勢は依然として低迷したままの厳しい環境が続きました。土木建設業界においては、補正予算決定効果で東北地方をはじめ、首都圏近郊でも改修・補強工事が増加する傾向にありますが、全国的に受注競争は一層激化し、採算性は低迷する厳しい状況に推移しました。

このような環境の下、当社グループでは、復興に伴う改修・補強工事分野における様々な工事需要に即した施工方法の立案・営業を展開し、工業ダイヤを応用した機器の販売と工事受注確保に努めると同時にグループ企業のシナジー効果を高め、コアリングマシンの開発など新たな市場の開拓に努めてまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は60億22百万円（前年同期比 3.0％減）となりました。利益面におきましては販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりましたが、営業損失は２億９百万円（前年同期は営業損失１億21百万円）となりました。また経常損失は２億３百万円（前年同期は経常損失98百万円）となり、四半期純損失は、３億26百万円（前年同期は四半期純損失１億41百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（切削機具事業）

ワイヤーソー、油圧モーターなど震災復旧に伴う機器や工具の売上が増加しましたが、全体的に工事の進展は緩やかでダイヤ切削消耗品の売上は低調に推移しました。また、新開発のコアリングマシンの受注は順調でしたが、マンホール耐震化消散弁の売上は停滞し、売上高は20億63百万円（前年同期比 4.7％減）、営業利益は60百万円（前年同期比58.4％減）となりました。

（特殊工事事業）

東日本大震災の復興工事における当社への影響工事は実質的にはまだ進展していませんが、全国的な災害対策工事は震災を機に前倒し傾向で受注競争が激化し採算性が低迷する中、徹底的な提案営業を展開し、売上高は８億83百万円（前年同期比 5.4％減）、営業利益は12百万円（前年同期比83.2％減）となりました。

（建設・生活関連品事業）

エコ住宅の推進などで住宅設備関連の一般個人消費は前年並みに推移し、住宅関連機器類の販売が増加し、売上高は21億３百万円（前年同期比 1.0％減）、営業損失は３百万円（前年同期は営業利益８百万円）となりました。

（工場設備関連事業）

電力不足などの影響で民間設備投資は依然として振るわず、全体的な設備関連が低迷し、売上高は３億45百万円（前年同期比14.9％減）、営業損失は22百万円（前年同期は営業利益２百万円）となりました。

（介護事業）

高齢者専用賃貸住宅の入居率は順調に向上し収益改善が進みましたが、売上高は３億62百万円（前年同期比16.2％増）、営業損失は29百万円（前年同期は営業損失63百万円）となりました。

（ＩＴ関連事業）

東京事務所の機能強化で売上・利益とも回復が進み、売上高は２億66百万円（前年同期比 0.5％減）、営業利益は３百万円（前年同期は営業損失35百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から１億15百万円減少し107億６百万円となりました。流動資産は、期末日満期手形（受取手形51百万円、支払手形２億30百万円）の影響により現金及び預金が１億12百万円増加し、売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少１億48百万円、繰延税金資産の減少98百万円などにより92百万円減少し45億30百万円となりました。固定資産は、大きな変動は無く23百万円減少し61億76百万円となりました。流動負債は、期末日満期手形の影響による支払手形及び買掛金の増加３億８百万円、短期借入金の減少60百万円などにより２億13百万円増加し29億79百万円となりました。固定負債は、大きな変動は無く48百万円増加し11億６百万円となりました。なお、長期・短期借入金は46百万円減少し16億92百万円となりました。純資産は、四半期純損失３億26百万円などにより３億76百万円減少し66億21百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災の復興予算が決まり、工事発注の具体化・物品の流通も上向いておりますが、復興計画の事業予算が厳しく吟味される中、急激な回復は見込めず、段階的かつ長期的に緩やかに進むものと予想され、今期の業績に与える影響は大きくないと見込み、平成23年10月28日に発表した予想から変更しておりません。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,032,423	1,144,757
受取手形及び売掛金	2,275,311	2,127,503
有価証券	108,002	62,904
商品及び製品	825,614	826,482
仕掛品	34,063	43,003
原材料及び貯蔵品	161,430	218,328
繰延税金資産	110,171	11,740
その他	78,993	101,853
貸倒引当金	△4,493	△6,863
流動資産合計	4,621,514	4,529,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,929,440	3,988,972
減価償却累計額	△2,349,757	△2,400,091
建物及び構築物（純額）	1,579,683	1,588,881
土地	3,793,925	3,793,925
その他	1,042,293	1,061,126
減価償却累計額	△944,821	△969,558
その他（純額）	97,473	91,567
有形固定資産合計	5,471,080	5,474,373
無形固定資産		
のれん	20,805	15,300
その他	67,451	51,613
無形固定資産合計	88,256	66,913
投資その他の資産		
投資有価証券	360,494	353,922
繰延税金資産	9,138	15,908
その他	335,303	319,760
貸倒引当金	△64,387	△54,404
投資その他の資産合計	640,549	635,186
固定資産合計	6,199,885	6,176,473
資産合計	10,821,399	10,706,181

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,429,282	1,736,797
短期借入金	1,062,788	1,002,323
未払法人税等	47,089	31,308
賞与引当金	62,100	45,170
完成工事補償引当金	324	252
その他	165,055	163,640
流動負債合計	2,766,638	2,979,489
固定負債		
長期借入金	675,594	689,919
退職給付引当金	311,509	337,195
役員退職慰労引当金	23,996	28,027
その他	47,002	50,654
固定負債合計	1,058,100	1,105,795
負債合計	3,824,738	4,085,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	3,013,064	3,013,064
利益剰余金	△7,881	△333,946
自己株式	△54,824	△54,962
株主資本合計	7,040,628	6,714,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△120,476	△168,099
為替換算調整勘定	△19,721	△22,010
その他の包括利益累計額合計	△140,198	△190,109
少数株主持分	96,230	96,580
純資産合計	6,996,660	6,620,896
負債純資産合計	10,821,399	10,706,181

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	6,205,763	6,021,903
売上原価	4,829,611	4,766,509
売上総利益	1,376,152	1,255,394
販売費及び一般管理費	1,497,203	1,464,186
営業損失（△）	△121,051	△208,791
営業外収益		
受取利息	2,075	2,616
受取配当金	7,495	7,960
受取手数料	6,715	7,546
受取家賃	12,677	12,459
その他	17,147	10,275
営業外収益合計	46,110	40,855
営業外費用		
支払利息	13,325	12,177
有価証券運用損	4,309	11,098
為替差損	2,261	9,333
その他	3,262	2,697
営業外費用合計	23,156	35,305
経常損失（△）	△98,098	△203,241
特別利益		
固定資産売却益	3	－
投資有価証券売却益	22,495	－
負ののれん発生益	5,185	－
役員退職慰労引当金戻入額	－	547
特別利益合計	27,683	547
特別損失		
固定資産除却損	327	503
投資有価証券売却損	－	464
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	510	－
特別損失合計	837	967
税金等調整前四半期純損失（△）	△71,252	△203,662
法人税、住民税及び事業税	35,465	27,512
法人税等調整額	23,362	91,729
法人税等合計	58,827	119,240
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△130,079	△322,902
少数株主利益	11,256	3,163
四半期純損失（△）	△141,335	△326,065

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△130,079	△322,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,032	△47,602
為替換算調整勘定	△14,864	△3,517
その他の包括利益合計	△68,897	△51,119
四半期包括利益	△198,975	△374,021
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205,050	△375,976
少数株主に係る四半期包括利益	6,074	1,955

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事事業	建設・生活関連品事業	工場設備関連事業	介護事業	ＩＴ関連事業	合　計
売上高							
外部顧客への売上高	2,163,598	932,904	2,124,500	405,600	311,961	267,201	6,205,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	24,224	10,959	－	1,457	36,640
計	2,163,598	932,904	2,148,724	416,559	311,961	268,657	6,242,403
セグメント利益又は損失（△）	143,875	70,967	7,948	1,561	△63,475	△35,337	125,538

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	125,538
セグメント間取引消去	666
全社費用（注）	△247,255
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△121,051

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事事業	建設・生活関連品事業	工場設備関連事業	介護事業	ＩＴ関連事業	合　計
売上高							
外部顧客への売上高	2,062,619	882,956	2,102,958	345,144	362,371	265,856	6,021,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	26,804	20,931	－	1,751	49,486
計	2,062,619	882,956	2,129,761	366,075	362,371	267,608	6,071,390
セグメント利益又は損失（△）	59,864	11,905	△2,907	△21,824	△28,686	3,244	21,597

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	21,597
セグメント間取引消去	△2,635
全社費用（注）	△227,753
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△208,791

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。